



2027年1月期 第2四半期 決算説明会 補足資料

株式会社シーイーシー | 9692 | 2026年9月10日

2027年1月期 第2四半期の決算概要についてご説明させていただきます。

株式会社シーイーシー代表取締役社長の姫野です。
本日はお忙しい中、ご参加頂きありがとうございます。

Agenda

目次

1 2027年1月期 第2四半期 経営成績

2 2027年1月期 業績見通し

3 Appendix

それでは本題に入ります。

2027年1月期 第2四半期 決算ハイライト

2027年1月期 第2四半期 業績概要

- システム・インフラ構築事業およびセキュリティサービス事業が伸長
- 前年同期比で売上高は+13.7%、営業利益は+20.5%となり過去最高を更新
- 受注高は既存ベース（大型案件を除く）で前年同期比+20.5%

2027年1月期 業績見通し

- 旺盛なDX需要を取り込み、通期業績予想を上方修正
- 中長期的な企業価値向上を目指し、成長投資は計画通り推進

株主還元

- 中間配当を増配、今後も継続的かつ安定的な利益還元を優先課題として推進
- 総額20億円を上限とする自己株式を取得、期末に取得分を消却予定

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 2

最初に第2四半期の決算ハイライトです。

業績概要としましては、
システム・インフラ構築、およびセキュリティ事業が伸長し、
売上高は前年比+13.7%、
営業利益は同じく+20.5%となり、過去最高を更新いたしました。
受注高は官公庁向け大型案件を除いた既存ベースでも
前年比+20.5%と堅調に推移しております。

2027年1月期の業績見通しにつきましては、旺盛なDX需要を背景に、
インフラ構築やマイグレーションなどの伸長が期待されるため、
通期業績予想を上方修正いたしました。

また、中長期的な企業価値向上を目指し、成長投資は計画通りに推進してまいります。

株主還元につきましては、中間配当を増配いたしました。
また、総額20億円を上限とする自己株式の取得を実施し、期末に取得分を消却する予定です。

2027年1月期 第2四半期 経営成績

2027年1月期 第2四半期の経営成績について、ご説明いたします。

連結経営成績

2027年1月期 第2四半期 経営成績

- 売上高・各利益ともに前年同期比で二桁伸長と堅調に推移
- 営業利益はインフラ構築案件およびセキュリティ自社製品が牽引

(単位：百万円)

	2026年1月期 2Q累計	2027年1月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	30,843	 35,080	+4,236	+13.7%
売上総利益/同率	8,130/26.4%	 9,360/26.7%	+1,230/+0.3pt	+15.1%
販売費及び一般管理費	4,678/15.2%	5,199/14.8%	+521/▲0.4pt	+11.1%
営業利益/同率	3,451/11.2%	 4,160/11.9%	+708/+0.7pt	+20.5%
経常利益/同率	3,516/11.4%	 4,234/12.1%	+718/+0.7pt	+20.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益/同率	2,384/7.7%	2,883/8.2%	+498/+0.5pt	+20.9%
受注高	42,861	38,989	▲3,871	▲9.0%
受注残高	28,181	26,861	▲1,320	▲4.7%

 : 過去最高

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

4

連結の業績となります。

売上高は350億80百万円、前年差で+42億36百万円、
営業利益は41億60百万円、同じく+7億08百万円、
営業利益率は11.9%、中間純利益は28億83百万円、同じく+4億98百万円での着地となりました。

システム・インフラ構築、セキュリティ事業が好調に推移し、
全ての指標で二桁伸長し、上期としては過去最高を更新しています。

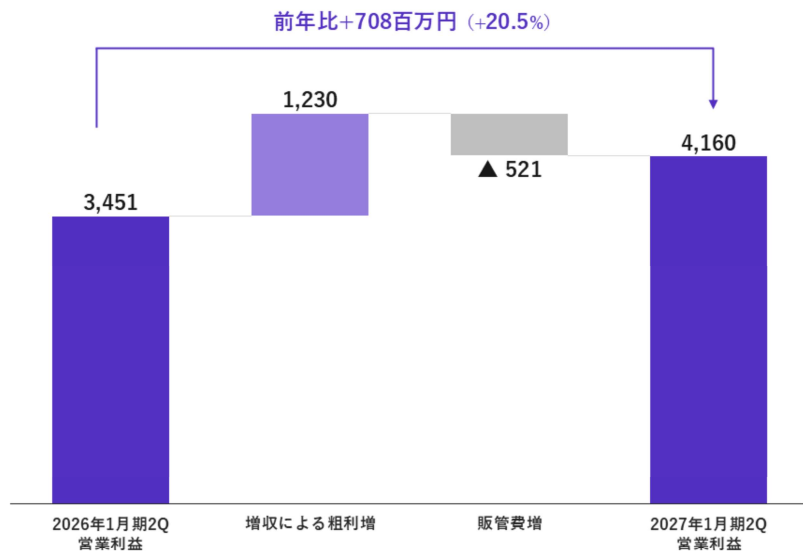
一方、受注高は389億89百万円で▲9.0%、
受注残高は268億61百万円で▲4.7%となっていますが、
これは前年の官公庁向け大型案件の反動減によるもので、
それを除いた“既存ベース”では20.5%の伸長となります。

営業利益の主な増減要因

2027年1月期 第2四半期 経営成績

－ 成長投資は一部計画の遅れはあるものの、人材投資を中心に着実に進捗

(単位：百万円)



販管費

(+521百万円)

(うち、成長投資 +447百万円)

主な販管費の内訳

- ・ 人材投資に係る費用の増加 +401百万円
- ・ 就業環境改善に伴う費用の増加 +131百万円
- ・ 研究開発費の減少 ▲85百万円
- ・ その他 (のれん、事業税、他) +74百万円

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

5

営業利益の主な増減要因です。

成長投資を含め、販管費は前年から5億21百万円増えましたが、12億30百万円の増収効果により、営業利益は前年差で7億08百万円の増益です。

成長投資につきましては、一部の遅れもありますが、概ね計画通りに進んでおり、前年から4億47百万円の増加となりました。

成長投資の主な内容は、人材投資や就業環境の改善に伴う費用となります。

事業セグメント別業績

2027年1月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

	2026年1月期/2Q		2027年1月期/2Q		増減額	
	売上高	セグメント利益 /率	売上高	セグメント利益 /率	売上高 (増減率)	セグメント利益 (増減率)
インテグレーション	19,675	4,167 21.2%	23,746	4,976 21.0%	+4,071 (+20.7%)	+808 (+19.4%)
コネクティッド	5,945	1,167 19.6%	5,946	1,228 20.7%	+1 (+0.0%)	+60 (+5.2%)
ソリューション	5,223	901 17.3%	5,386	1,321 24.5%	+163 (+3.1%)	+419 (+46.6%)
全社費用※	—	▲2,784	—	▲3,365	—	▲580
合計	30,843	3,451 11.2%	35,080	4,160 11.9%	+4,236 (+13.7%)	+708 (+20.5%)

※全社費用とは、全社販管費から主に営業活動に係る費用を差し引いたもの

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 6

事業セグメント別の業績です。

3つの事業セグメントともに増収増益となりました。

インテグレーションセグメントは、官公庁向けの大型案件、自動車向けの基幹システムなどが堅調に推移しまして、売上高で約40億円プラスの237億46百万円、セグメント利益では約8億円プラスの49億76百万円となり、二桁の増収増益で着地しております。

コネクティッドセグメントは、データマネタイゼーション事業が伸長した一方、EV関連の開発終了が影響し、売上高は59億46百万円と前年並みでしたが、セグメント利益は約6千万プラスの12億28百万円となり、利益・利益率の面では向上いたしました。

ソリューションセグメントは、注力事業のセキュリティサービス事業が牽引し、売上高で約1億6千万円プラスの53億86百万円、セグメント利益は約4億2千万プラスの13億21百万円、利益率も7.2ptと大きく改善いたしました。

全社費用は、主に間接部門の費用となりますが、人件費や採用関連費、成長投資の増加により、5億80百万円の費用増となっています。

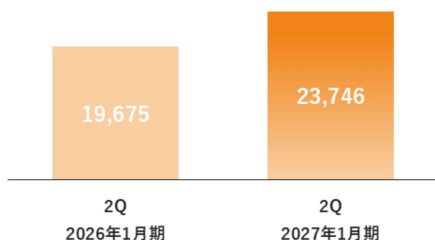
セグメント別業績<インテグレーション>

2027年1月期 第2四半期 経営成績

売上高

(単位：百万円)

+：増加 ±：横ばい -：減少



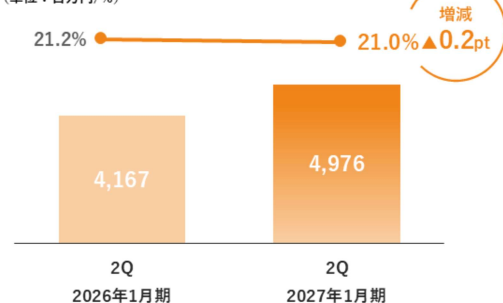
売上高

前年比 + **4,071** 百万円 + **20.7** %

- [注力]
 (+) **マイグレーションサービス事業**は、前期実施のレガシーマイグレーション案件施策が結実し、二桁伸長
 (±) マイクロソフトサービス事業はD365が谷間となるも、M365の構築案件が増加し前期並み
 (+) システム・インフラ構築事業のシステム開発は自動車産業向け基幹システム開発が堅調
 インフラ構築は前期に引き続き官公庁向け大型案件が牽引

セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



セグメント利益

前年比 + **808** 百万円 + **19.4** %

- (+) 増収に伴う増益
 (+) システム開発・インフラ構築事業での収益性改善に伴い利益拡大

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

7

セグメント別の事業概況です。

まずは、インテグレーションセグメントの状況です。

全体では、売上／利益ともに二桁伸長です。

[注力：マイグレーションサービス事業]

前期から取り組んでいる、レガシーマイグレーションの営業施策の成果が徐々に始まっており、二桁伸長しております。

[マイクロソフトサービス事業]

Dynamics365が案件の谷間でしたが、Microsoft365の構築案件でカバーできたため、前期並みで着地しております。

[システム・インフラ構築事業]

システム開発は自動車向けの基幹システム開発が堅調であり、インフラ構築は前期からの官公庁向け大型案件が全体を牽引し、増収増益で着地しております。

利益面は、増収に伴う増益に加え、主にシステム開発・インフラ構築事業等での価格転嫁による利益改善です。

- 官公庁向け大型インフラ案件※は計画通り着実に進捗
- インテグレーション売上高も同案件を除き前年同期比+14.0%増と堅調

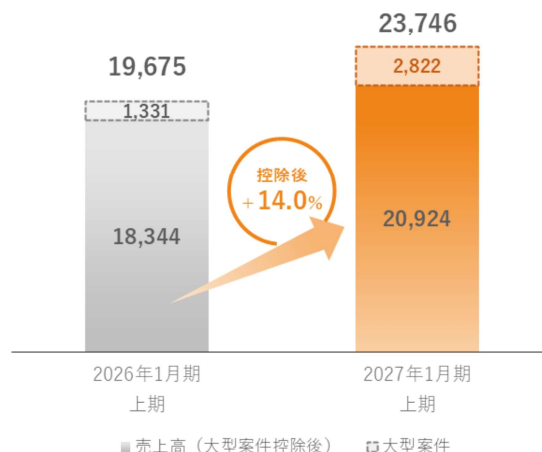
売上計上時期/額



※ ネットワーク機器を含む官公庁向け大型案件

売上高（大型案件除く/含む）

※点線部が大型案件分。増減率は大型案件控除後ベース（大型案件含むベースは+20.7%）（単位：百万円）



© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

8

参考情報です。

・左側は、前のページで説明した、官公庁向け大型案件の売上計上時期と金額です。

・昨年の上期に約113億円を受注し、前期で約半分の53億円を売上計上しましたが、今期も上期で28億円の売上を「工事進行基準」に則り、計上しております。下期は32億円の計上見込みです。

・右側のグラフは、本大型案件を除いた場合での、売上高の推移を示したものです。

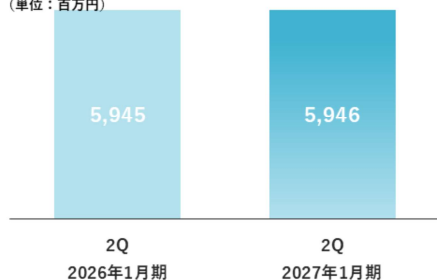
・同案件を除いても、インテグレーションセグメントの売上高は、前年同期比+14.0%と伸長しており、既存事業も着実に成長していることがご確認いただけるかと思います。

セグメント別業績<コネクティッド>

2027年1月期 第2四半期 経営成績

売上高

(単位：百万円)



+：増加 ±：横ばい -：減少

売上高

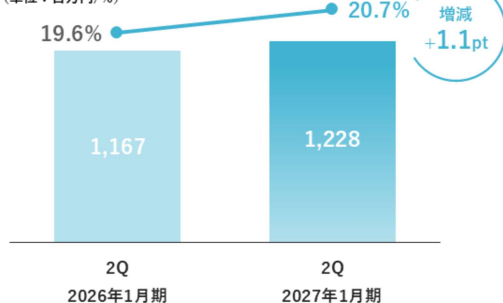
前年比 + **1** 百万円 + **0.0** %

[注力]

- (+) データマネタイゼーション事業はビッグデータ分析基盤構築が牽引し伸長
- (±) クラウドサービス開発事業はEV関連案件が減少も、クラウド需要が下支えし前期並み
- (±) 制御シミュレーション事業はFA制御開発が谷間も、車載制御開発が伸長し前期並み
- (-) 品質マネジメント事業は、AI活用した次世代検証の需要が増加も、EV関連案件の減少に伴い減収

セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



セグメント利益

前年比 + **60** 百万円 + **5.2** %

- (+) 利益率の高いデータマネタイゼーション事業の伸長
- (+) 開発案件での継続的な生産性向上策の実施により利益率改善

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 9

コネクティッドセグメントの状況です。

売上高は前年並みですが、セグメント利益は+5.2%、
利益率は1.1ptと改善しています。

[注力：データマネタイゼーション事業]

ビッグデータ分析基盤構築が牽引し、伸長しております。
セグメント全体の利益率改善にも貢献しております。

[クラウドサービス開発事業]

EV関連案件は減少しましたが、旺盛なクラウド需要が下支えしまして、
前期並みで着地しております。

[制御シミュレーション事業]

車載制御開発は伸長したものの、FA制御開発の谷間を埋める
新規の案件獲得に遅れ、前期並みで着地です。

[品質マネジメント事業]

AIを活用した次世代検証の需要は増加しましたが、
特定顧客のEV関連事業の終了に伴い減収です。

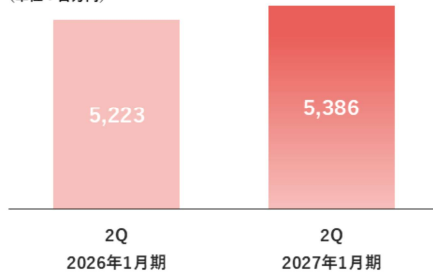
利益面は、利益率の高いデータマネタイゼーション事業の伸長、
および開発案件での生産性向上策の実施により改善されています。

セグメント別業績<ソリューション>

2027年1月期 第2四半期 経営成績

売上高

(単位：百万円)



+：増加 ±：横ばい -：減少

売上高

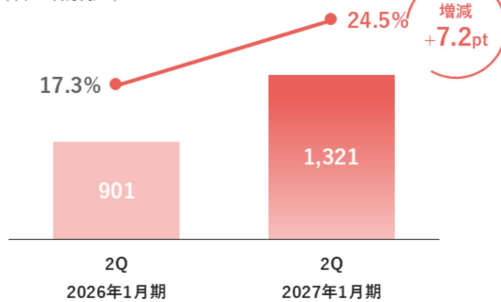
前年比 + **163** 百万円 + **3.1** %

[注力]

- (+) セキュリティサービス事業は自社製品「SmartSESAME」の大型商談を獲得し、セグメント業績を牽引
- (-) データセンター事業は受注伸長も、事業再編のプロセスに伴う一部契約終了や、新規契約獲得の遅れにより減収
- (+) 業界特化型ソリューションはヘルスケア向け大型商談獲得により堅調

セグメント利益/同率

(単位：百万円/%)



セグメント利益

前年比 + **419** 百万円 + **46.6** %

- (+) 増収に伴う増益
- (+) 自社製品「SmartSESAME」の拡販により、利益伸長
- (-) データセンター移設期間により、新旧データセンターの運営費用が重複発生

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 10

最後に、ソリューションセグメントの状況です。

売上高は+3.1%と緩やかな伸長でしたが、

セグメント利益は+46.6%、利益率は7.2ptの改善と大きく伸長いたしました。

[注力：セキュリティサービス事業]

官公庁を中心に自社製品「SmartSESAME」の大型商談を獲得し、セグメント全体を牽引しました。

[データセンター事業]

受注は伸長しましたが、事業再編に伴う一部の契約終了および新規獲得の遅れにより減収となりました。

また、移設期間中は新旧データセンターの運営費用も重複して発生しており、利益面でも若干影響しました。

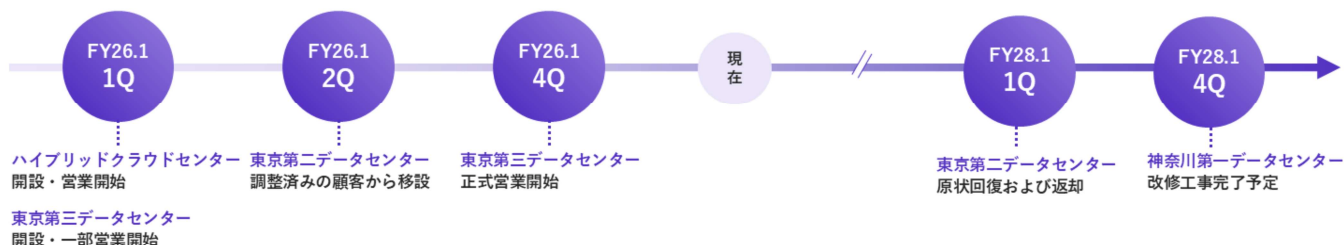
[業界特化型ソリューション]

医療・ヘルスケア向けで大型商談の獲得もあり、堅調に推移しております。

利益面は、自社製品「SmartSESAME」の拡販が上期の業績に大きく貢献しております。

－ 2年目（2027年1月期）は投資ピークの見込み。中期経営計画期間内の投資計画に変更なし

移設・拡充状況



投資状況

設備投資

0.8億円(実績) / 1.4億円(通期計画)

- 資材不足等の影響により投資実行は一部下期へ

移設費用

0.1億円(実績) / 2.0億円(通期計画)

- 工期の延伸により移設ピークは下期へ

データセンター事業の再編状況となります。

中計2年目の今期は、移設作業も

山場となり、設備面も含めて投資のピークとなります。

設備投資は、資材不足等の影響により投資の実行面で一部を
下期に後ろ倒ししております。

また、資材調達の遅れに伴う工期の延伸などにより、
移設もやや遅れ気味で、ピークは下期となっています。

現在のところ、中計期間内の投資計画に変更はございませんが、
人件費や資材高騰、資材不足での納期遅延も発生していますので、
適宜見直しを計り、計画変更が生じる場合は、速やかに開示してまいります。

注力事業別売上高

2027年1月期 第2四半期 経営成績

注力事業		2027年1月期 2Q累計	2027年1月期 目標値	進捗率	2026年1月期 2Q累計	前年同期比
インテグレーション	マイグレーションサービス	2,409百万円	4,600百万円	52.4%	1,934百万円	+24.5%
コネクティッド	データマネタイゼーション	1,638百万円	3,500百万円	46.8%	1,507百万円	+8.6%
ソリューション	セキュリティサービス	3,077百万円	6,000百万円	51.3%	3,012百万円	+2.2%
全社推進	クラウドサービス	10,253百万円	19,000百万円	54.0%	8,734百万円	+17.4%

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 12

注力事業別の進捗です。

セグメント別状況の説明と重複しますので、簡潔にご説明させていただきます。

----- [マイグレーションサービス]

24億09百万円、前年同期比+24.5%。

今期はリHOSTやオフコンのマイグレーション案件が増加し、二桁伸長しております。

通期目標に対する進捗率は52.4%です。

----- [データマネタイゼーション]

16億38百万円、前年同期比+8.6%。

ビッグデータ分析基盤構築は堅調ですが、進捗率が軟調のため、

今期リリースしたデータ利活用基盤「Resolana」の主に製造業で

PoC中の案件をしっかりと受注まで漕ぎ付け、下期で挽回して参ります。

----- [セキュリティサービス]

30億77百万円、前年同期比+2.2%。

自社製品「SmartSESAME」の大型商談が寄与しました。

通期目標60億円に対する進捗率は51.3%と計画通りです。

下期も好調に推移する見通しです。

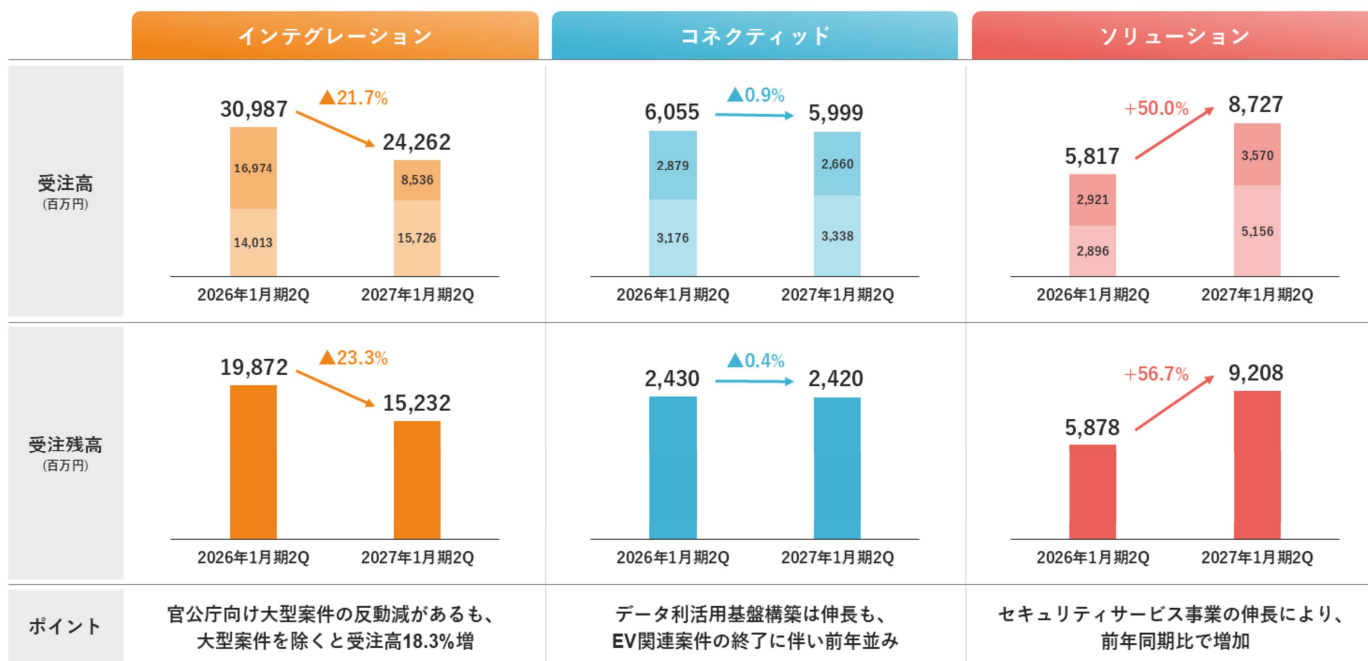
----- [全社推進のクラウドサービス]

102億53百万円、前年同期比+17.4%伸長。

通期目標190億円に対する進捗率は54.0%と、基幹・業務システムのクラウド化やクラウド基盤構築を中心に伸長しています。

受注高・受注残高の推移

2027年1月期 第2四半期 経営成績



© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 13

セグメント別の受注高・受注残高の状況です。

[インテグレーションセグメント]

前年獲得した官公庁向け大型案件の反動減もあり、受注高は▲21.7%、受注残高は▲23.3%です。大型案件を除いた既存ベースでは+18.3%と伸長しております。

[コネクティッドセグメント]

ビッグデータ分析基盤の構築は伸長したものの、特定顧客のEV関連事業の終了も影響して、受注高は▲0.9%、受注残高は▲0.4%と、前年並みに推移しております。

[ソリューションセグメント]

セキュリティサービス、およびDCの大型商談獲得により、受注高は+50.0%、受注残高は+56.7%と、大きく増加しました。

業種別売上高

2027年1月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

	2026年1月期 2Q累計	2027年1月期 2Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
製 造 業 (構 成 比)	11,467 (37.2%)	12,081 (34.4%)	+614	+5.4%
通 信・情サビ業 (構 成 比)	6,062 (19.7%)	6,986 (19.9%)	+924	+15.3%
金 融 業 (構 成 比)	2,951 (9.6%)	3,220 (9.2%)	+269	+9.1%
流 通 業 (構 成 比)	1,837 (6.0%)	2,542 (7.2%)	+704	+38.4%
官 公 庁 (構 成 比)	5,135 (16.6%)	7,244 (20.6%)	+2,109	+41.1%
そ の 他 (構 成 比)	3,390 (10.9%)	3,004 (8.7%)	▲386	▲11.4%
合 計	30,843 (100%)	35,080 (100%)	+4,236	+13.7%

業種別のポイント
【製 造】 自動車産業向け基幹システムの 開発案件が堅調
【通信・情サビ】 インフラ構築案件の増加
【金 融】 マイグレーション案件の増加
【流 通】 ヘルスケア領域で案件増加
【官公庁】 インフラ構築案件の増加 セキュリティ自社製品の増加

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

14

業種別の売上高です。

その他を除く全業種で前年同期比プラスです。

----- [製造業]

自動車産業向けの基幹システム開発案件が堅調です。

[通信・情報サービス業]

インフラ構築案件の増加により+15.3%の伸長です。

[金融業]

マイグレーション案件の増加により+9.1%の伸長です。

[官公庁]

インフラ構築、およびセキュリティ自社製品の増加により、
+41.1%と大きく伸長しました。

連結貸借対照表

2027年1月期 第2四半期 経営成績

－ 総資産は前期末並みも、売上債権の回収等により現金及び預金が増加。自己資本比率は69.2%へ上昇

(単位：百万円)		2026年1月末	2026年7月末	増減額	増減率	ポイント
資産	流動資産	46,210	44,322	▲1,887	▲4.1%	減少 売上債権が減少した一方、現金預金・固定資産は増加し、総資産は微減
	内、現金及び預金	25,200	26,405	+1,205	+4.8%	
	固定資産	16,000	17,836	+1,835	+11.5%	
	資産合計	62,210	62,159	▲51	▲0.1%	
負債	流動負債	17,400	18,091	+690	+4.0%	減少 契約負債は増加したものの、買掛金の減少等により負債全体は減少
	固定負債	2,206	1,033	▲1,173	▲53.2%	
	負債合計	19,607	19,125	▲482	▲2.5%	
自己資本		42,581	43,000	+419	+1.0%	増加 自己株式取得による減少を利益剰余金の増加が上回り、純資産は増加
自己資本比率		68.4%	69.2%	－	+0.8pt	

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 15

貸借対照表（B/S）の状況です。

〔資産〕

売上債権が減少した一方、現金預金・固定資産は増加し、総資産の合計は621億59百万円と前期末並みです。

〔負債〕

契約負債は増加したものの、買掛金の減少等により、負債合計は4億82百万円の減少となりました。

〔自己資本（純資産）〕

自己株式取得による減少はあるものの、利益剰余金の増加により、純資産は、4億19百万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は+0.8ptの69.2%となりました。

2027年1月期 業績見通し

続きまして、2027年1月期の業績見通しについて
ご説明いたします。

2027年1月期 通期業績予想

2027年1月期 業績見通し

－ インフラ構築・マイグレーション・セキュリティの伸長が見込まれるため、**通期業績予想を上方修正**

(単位：百万円)

	2027年1月期 期初通期予想 (2026/3/12発表)	2027年1月期 修正通期予想 (2026/8/21発表)	増減額 (増減率)	2026年1月期	増減額 (増減率)
売上高	68,000	70,500	+2,500 (+3.7%)	65,882	+4,618 (+7.0%)
営業利益/同率	7,750/11.4%	8,320/11.8%	+570 (+7.4%)	7,338/11.1%	+982 (+13.4%)
経常利益/同率	7,800/11.5%	8,420/11.9%	+620 (+7.9%)	7,435/11.3%	+985 (+13.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益/同率	5,600/8.2%	5,900/8.4%	+300 (+5.4%)	5,201/7.9%	+699 (+13.4%)

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 17

2027年1月期の通期業績予想です。

8月21日に上方修正を開示しております。

期初予想からの修正幅は、

売上高：25億円プラスの705億円

営業利益：5億7千万円プラスの83億20百万円

当期純利益：3億円プラスの59億円

売上・利益は過去最高を更新する見通しです。

国内外の経済動向には引き続き注視が必要ですが、

旺盛なDX需要やAI需要を取り込み、中計最終年の

目標達成に向けて、商材の充実化も図りながら、着実に進めて参ります。

事業セグメント別業績予想

2027年1月期 業績見通し

(単位：百万円)		2026年1月期 通期	2027年1月期 2Q累計	2027年1月期 通期修正予想 2026/9/10発表	増減額 (増減率)	進捗率
インテグレーション セグメント	売上高	42,953	23,746	47,000	+4,047 (+9.4%)	50.5%
	内、注力事業	4,119	2,409	4,600	+481 (+11.7%)	52.4%
	セグメント利益(同率)	8,786 (20.5%)	4,976 (21.0%)	9,860 (21.0%)	+1,074 (+12.2%)	50.5%
コネクティッド セグメント	売上高	11,837	5,946	12,200	+363 (+3.1%)	48.7%
	内、注力事業	3,073	1,638	3,500	+427 (+13.9%)	46.8%
	セグメント利益(同率)	2,284 (19.3%)	1,228 (20.7%)	2,690 (22.0%)	+406 (+17.8%)	45.7%
ソリューション セグメント	売上高	11,091	5,386	11,300	+209 (+1.9%)	47.7%
	内、注力事業	6,490	3,077	6,000	▲490 (▲7.6%)	51.3%
	セグメント利益(同率)	1,939 (17.5%)	1,321 (24.5%)	2,350 (20.8%)	+411 (+21.2%)	56.2%
全社推進事業 (クラウドサービス)	売上高	17,416	10,253	19,000	+1,584 (+9.1%)	54.0%

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved. 18

セグメント別の通期業績予想と上期の進捗率です。

〔インテグレーションセグメント〕

売上高470億円、セグメント利益98億60百万円

上期進捗率は売上高で50.5%。

下期もインフラ構築やマイグレーション事業が牽引するとの見通しです。

〔コネクティッドセグメント〕

売上高122億円、セグメント利益26億90百万円

上期進捗率は売上高で48.7%。

下期もデータマネタイゼーションが中心ですが、上期低調だったクラウド開発・品質マネジメントも挽回に向けて、推進して参ります。

〔ソリューションセグメント〕

売上高113億円、セグメント利益23億50百万円

上期進捗率は売上高で47.7%。

下期はデータセンターの移設も完了予定のため、データセンター／クラウド事業を成長軌道に乗せるための施策を推進して参ります。

－ 成長投資は一部遅れはあるものの、通期で計画通り推進



成長投資の進捗状況です。

今期は、通期で60億の計画としており、上期で25億円を予算執行しております。

〔人材投資〕

給与水準の向上に加え、採用強化によりキャリア人材を獲得しております。

〔研究開発投資〕

フィジカルAIやデジタルツインによるロボットの自律制御の実証研究、自社製品「SmartSESAME」のID管理における機能拡張などを進めています。

〔M&A投資〕

1Qで開示したDDS社の株式取得費用を計上しております。

下期も複数案件が動いており、社内のM&A推進体制を強化し、積極的に推進してまいります。

〔設備投資〕

オフィス関連投資（恵比寿事業所の増床・福岡事業所の移転）、およびデータセンター移設に伴うネットワーク機器の費用が計画的に予算執行されています。

成長投資は一部計画を下期に変更しておりますが、人材投資を中心に着実に進捗しております。



最後に、当社のAI戦略について、ご説明します。

本ページは第1四半期の決算補足資料でお示しした内容の再掲となります。

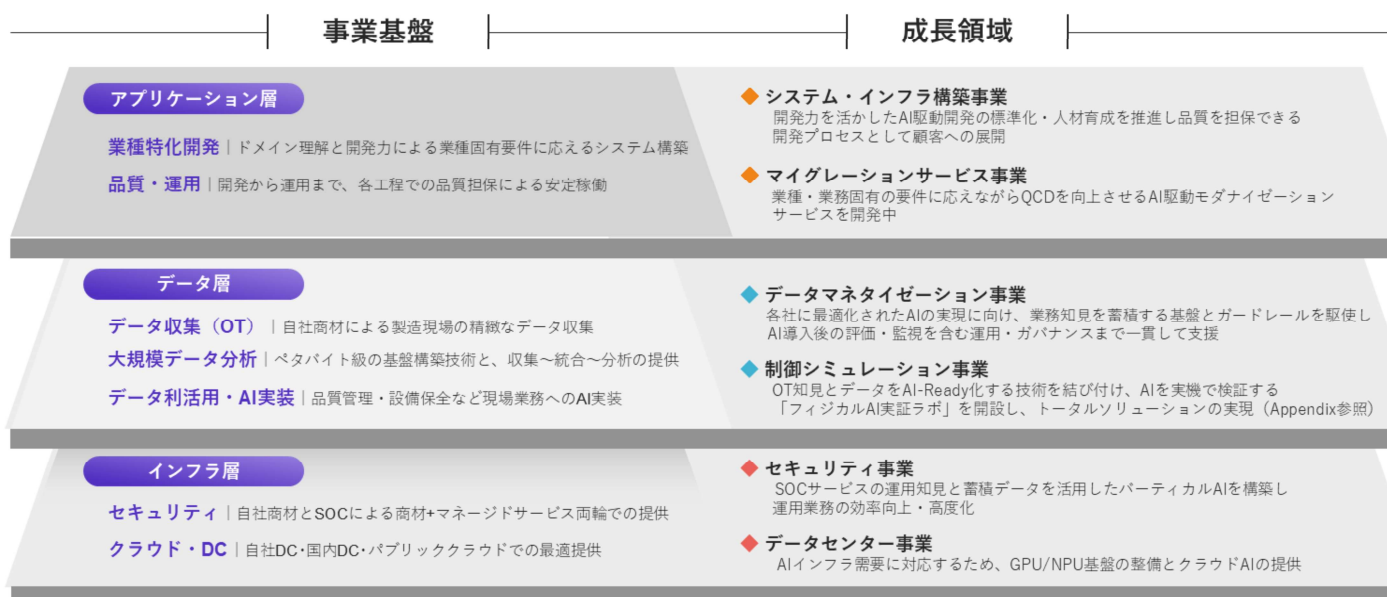
AI基本方針では、当社の強みにAIを掛け合わせ、顧客の事業成長への貢献と当社の事業領域の拡大を目指すとしています。

ここで上げる当社の強みとは、
システム開発からインフラ構築・運用を網羅する「システムインテグレーション力」
現場の制御・運用に根差した「OT領域の知見・実績」
長年培った業務知見と顧客固有の「ドメイン理解」
いずれも模倣が難しい希少な資産であり、当社の強みです。

注力するAI技術は、パーティカルAIやフィジカルAI、
そしてデータインテリジェンスなどがあげられます。
これらを当社の強みと掛け合わせることで、業種固有の課題解決による
「顧客の事業成長加速」、生産現場での持続的な「事業変革」、
人とAIの協働による「組織の生産性・付加価値向上」、これらを実現してまいります。

推進機軸としては、一番下の段の、研究開発・ナレッジの蓄積から、AI人材の育成、
データ品質・ガバナンス、自社商材へのAI機能の組み込み、などを中心に進めています。

－全レイヤー（アプリ層～インフラ層）で成長領域を定め、顧客価値の創出と事業領域の拡大を進める



左側の「事業基盤」には、当社の現状の事業や強みを記載しており、右側には、その強みとAIを掛け合わせた、今後の「成長領域」を記載しております。

アプリケーション層では、インテグレーションセグメントの領域となりますが、ドメイン理解と高い技術・品質力により、顧客のAI駆動開発の標準化・人材育成を主動し、顧客の価値創出に応えると共に、担当領域の拡張を図って参ります。また、マイグレーション事業でもAI駆動を確立し、業種を超えての横展開で事業拡大を進めます。

データ層では、コネクティッドセグメントの領域です。製造現場における当社のデータ収集製品やビッグデータ分析能力を活かし、生産データや現場固有の知見・暗黙知と、ロボット・工作機械とを繋ぐ技術・基盤の提供にて、パーティカルAIやフィジカルAIの導入・構築を実現いたします。また、AIによる暴走を防ぐためのガードレール等の研究・開発も進め、AI導入後の評価・監視を含む、運用・ガバナンスまでを一貫して支援する、製品・サービス化も検討しています。

インフラ層は、ソリューションセグメントの領域です。当社の強みであるセキュリティ事業とDCのファシリティやネットワークを駆使して、AIによる監視・運用業務の効率化・高度化や、AIインフラの需要に応えるため、GPU/NPU基盤やクラウドAIの提供なども構想としてあげています。

このように、アプリ層からデータ層、そしてインフラ層まで、私達は垂直型に全レイヤーをカバーする数少ない1erだと自負しております。その全レイヤーで成長領域を定め、既存の事業領域とAIを掛け合わせることで、中長期的な顧客価値の創出と収益基盤の拡大を進めて参ります。



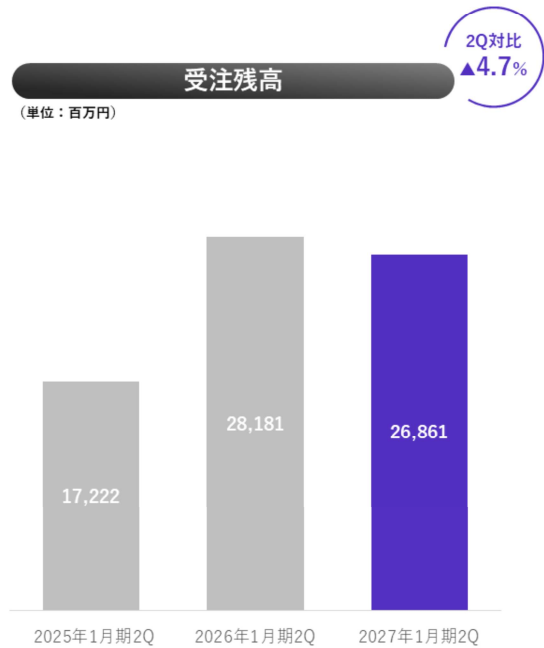
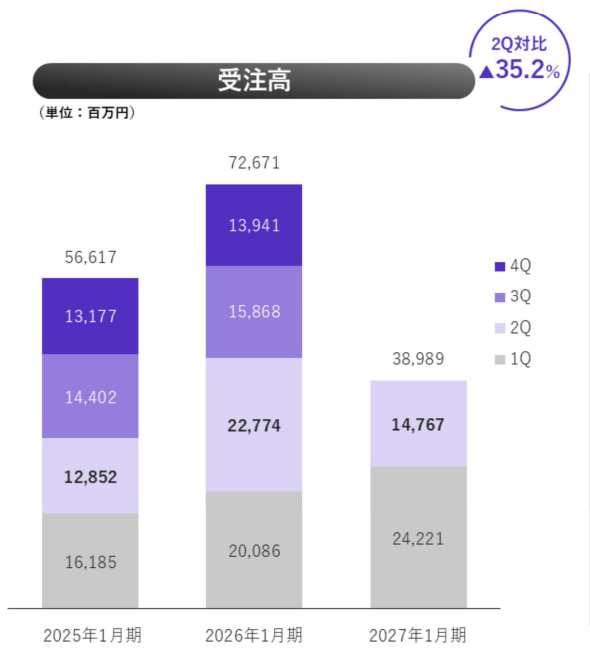
2027年1月期 中間決算説明会

ご清聴ありがとうございました

以上で、2027年1月期 第2四半期の決算概要
について、説明を終了させていただきます。

長い時間、ご清聴ありがとうございました。

Appendix



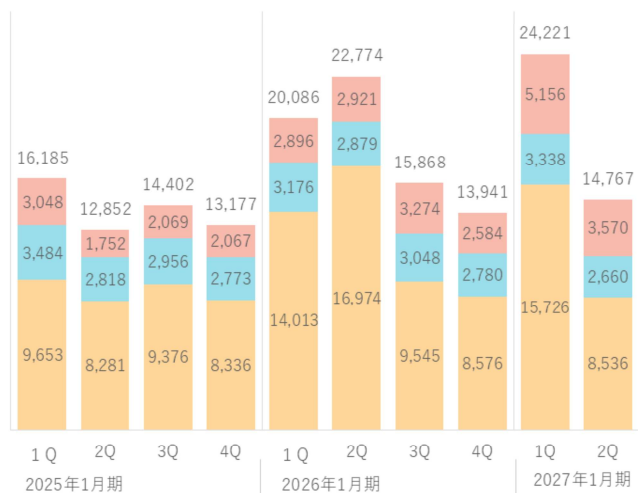
(説明省略)

四半期受注高・受注残高推移（セグメント別）

Appendix

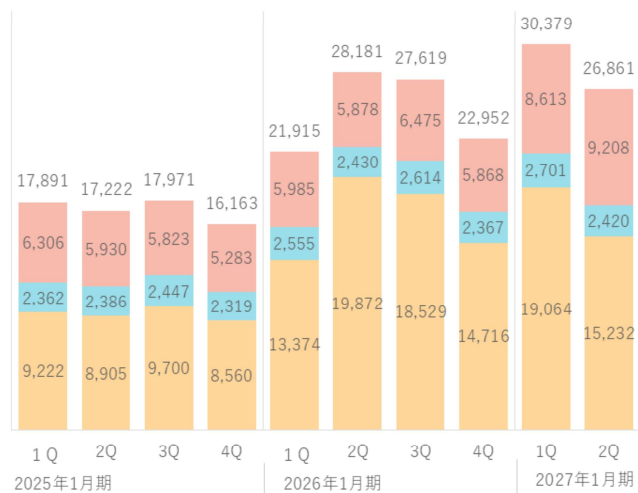
受注高

（単位：百万円）



受注残高

（単位：百万円）

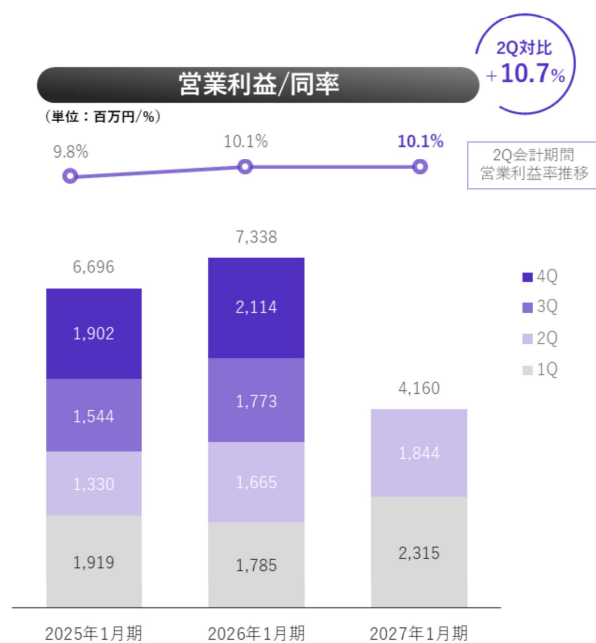
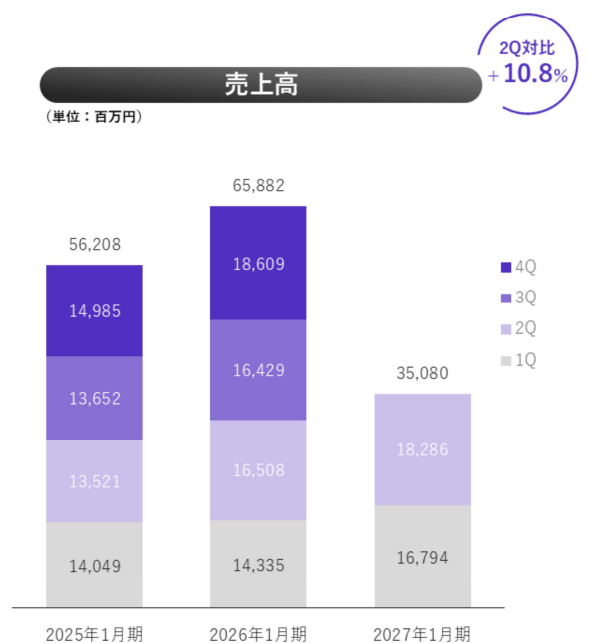


■ インテグレーション ■ コネクティッド ■ ソリューション

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

25

（説明省略）



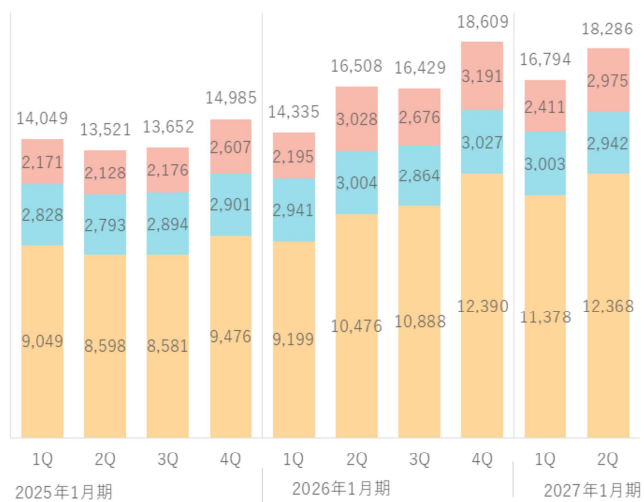
(説明省略)

四半期業績推移（セグメント別）

Appendix

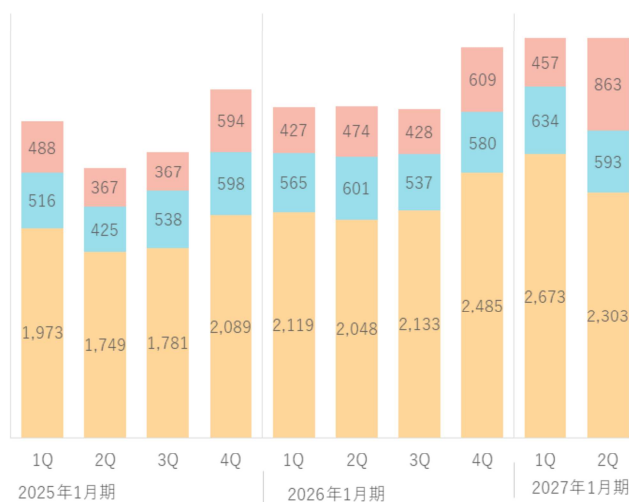
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



■ インテグレーション ■ コネクティッド ■ ソリューション

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

27

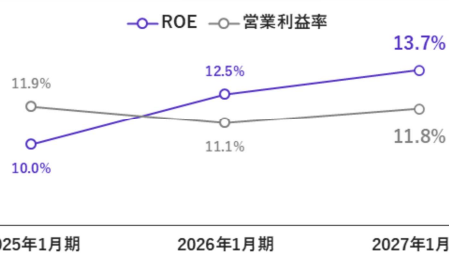
（説明省略）

その他の指標

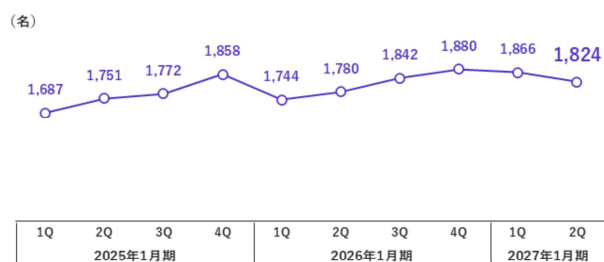
従業員数の推移



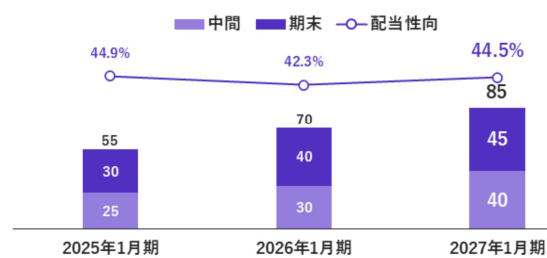
ROE・営業利益率推移



パートナー人数の推移※



配当性向および配当金推移



※ シーイーシー<単体> 請負契約含めず

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

28

(説明省略)

－製造DX分野の製品群による高精細なOT（制御・運用技術）データ収集と、データ利活用基盤「Resolana」でのデータ整備・分析を組み合わせ、フィジカルAIのトータルソリューションを実現

現場のデータ収集

製造現場の状況や
暗黙知をデジタル化



- MES/IoT（設備・工程）
- 現場映像
- 暗黙知・作業ノウハウ

VR・R⁺
Facteye®

製造現場をデジタル化する製品群

データ統合／AI-Ready化

データを一元化し
AI活用可能な状態へ



- 生産性分析
- 稼働・品質分析
- メタデータ管理・ガバナンス

Dataxia
Resolana
AIデータ活用基盤

AIによる判断・最適化

現場データをもとに
判断・計画を実行

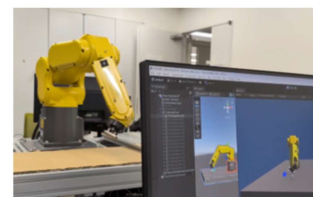


- 加工条件変更（最適化・提案）
- 故障予測・保全支援
- 生産再計画

AIエージェント

フィジカルAIによる実行

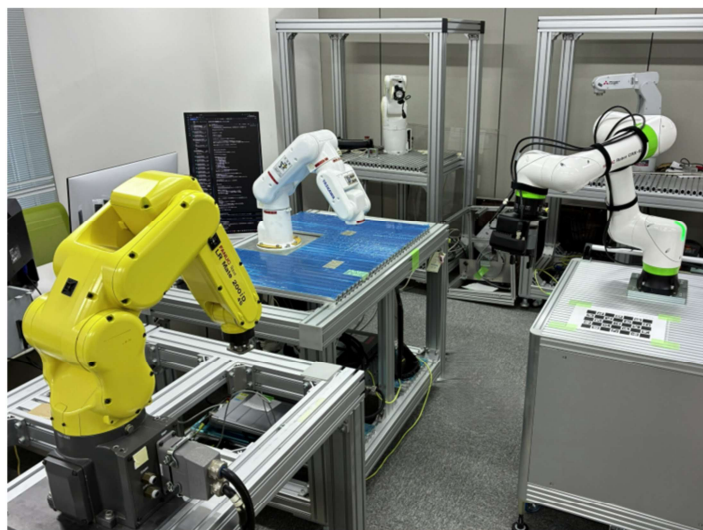
AIの判断を
物理世界で忠実に再現



実機検証（現場でのロボット制御）

（説明省略）

－ 製造業向けのフィジカルAI実装実証拠点として「フィジカルAI実証ラボ」を開設



設立の背景

- AI×ロボティクスの導入は、環境構築や技術習得の負担からPoC（概念実証）止まりになるケースが多発している
- 本格実装への移行には、先端技術を組み合わせた迅速な検証環境とエコシステムの整備が不可欠である

「フィジカルAI実証ラボ」の概要

- スマートファクトリー事業のノウハウと最新AI環境を統合した新たな実証拠点とする
- AI学習基盤、シミュレーション用インフラ、エッジAIデバイスを社内に構築し、協働ロボットによる実機検証を行う

実現できること

- **開発から実機検証までの一貫対応**
仮想空間でのロボット学習データ作成・拡張から、実機でのピック&プレース作業までシームレスに実現
- **仮想から実機へのスムーズな連動**
生成AIで作成したTP（Teaching pendant）プログラムを仮想空間で繰り返し検証し、そのまま実機ロボットと連動させて動作実行が可能

（説明省略）

車載システム開発の効率化ニーズに応え、解析工数を約70%削減する『Connected SynQuest』を提供開始

自動運転やSDV（ソフトウェア定義車両）の普及を背景に高まる開発効率化ニーズに対応し、車載システム開発向け時系列データ統合モニタリングツール『Connected SynQuest』の提供を開始しました
走行テストデータの収集・同期を自動化することで開発現場の生産性向上を支援し、自動車分野で培った技術・知見を活かした事業領域の拡大を目指します



Connected SynQuest

詳しくはこちら

<https://www.cec-ltd.co.jp/news/2026/7351.html>

ID・認証分野での事業拡大を見据え、統合多要素認証基盤『SmartSESAME Cloud UniPass』を提供開始

サイバー攻撃の高度化や各種セキュリティガイドラインへの対応を背景に、多要素認証の需要が拡大しています
当社は長年培ってきたID・認証分野のノウハウを活かし、クラウド型認証サービス領域へ展開することで、教育・医療・自治体・民間企業など、幅広い市場での事業拡大を目指します

SmartSESAME クラウドユニパス
Cloud UniPass

詳しくはこちら

<https://www.cec-ltd.co.jp/news/2026/7354.html>

（説明省略）

情報システムの企画・コンサルティング・アプリケーション開発を活用し、顧客業務のICT全般をトータル提供

	事業概要	強み
注力事業 マイグレーションサービス事業	● 企業のDX実現のための、インフラストラクチャー（メインフレーム/オフコン/仮想化基盤）およびアプリケーションのマイグレーション・モダナイゼーションに関連するサービス提供	✓ インフラからアプリケーションまで対応可能 ✓ レガシー（メインフレームやオフコン）からオープンレガシーまで対応可能 ✓ マルチアーキテクチャー、マルチベンダー、マルチプラットフォームの対応が可能 ✓ 豊富なノウハウ×自動化ツール×専門技術者 ✓ コンサルティング、開発、保守/運用までトータルサポート
マイクロソフトサービス事業	● マイクロソフトクラウドサービス（Dynamics 365、Microsoft 365、Power Platform、Azureなど）の導入コンサル・システム開発・保守運用業務	✓ 基本機能を強化する豊富な独自テンプレート ✓ 他クラウドサービスとの連携もサポート ✓ 導入相談から運用支援、定額支援までトータルサポート ✓ 蓄積されたノウハウ・高い技術力・豊富な実績
システム・インフラ構築事業	● 官公庁、自治体向け、銀行・保険・証券など金融分野向けシステム開発・保守運用業務 ● ICT インフラおよびクラウドサービスの企画検討から、設計・構築・移行・運用までライフサイクルマネジメント全般に関する業務 ● クラウドサービスを活用したコンサルティング・インテグレーションの提供 ● 自動車産業を対象とする技術情報部門、企業情報部門や人事・生産物流向けのICTサービス全般を提供	✓ 創業期からの直接取引による信頼関係 ✓ 官公庁、自治体向けの開発実績 ✓ 豊富な業務経験からくるレガシーシステムの知見 ✓ ICTインフラの設計・構築・移行・運用までワンストップ対応力 ✓ 大手自動車メーカーとの繋がりや業務ノウハウ
グループ会社	● ニアショア開発・構築・保守運用業務 ● 人材派遣サービス	✓ 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

（説明省略）

クラウドと連携する IoT システムの開発や、データの分析や利活用を支援する製品・サービスの提供

	事業概要	強み
注力事業 データマナタイゼーション事業	- AI・データ戦略の立案、AI エージェント構築、データ基盤構築、AI Opsに関する業務 - データ分析・データ利活用に関する業務 - AI・データ利活用に関する ICT 製品/サービスの提供	✓ ペタバイト級の大量データの分析基盤構築技術を保有 ✓ 工場 IoT 向けの独自のデータ収集基盤製品を保有 ✓ モビリティや製造現場の専門知識を持つエンジニアが多数在籍
クラウドサービス開発事業	- クラウドサービス、スマホアプリを対象としたソフトウェア開発・運用に関する業務 - DevOps を支援する ICT 製品/サービスの提供	✓ AWS Well-Architected パートナーとして、クラウドや AI など専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ クラウドの運用保守までワンストップで対応可能 ✓ DevOps や自動テストを支援する商品ラインアップが豊富
制御シミュレーション事業	- エッジデバイスを対象とした組み込みソフトウェア開発に関する業務 - シミュレーションやフィジカルAIに関する業務や ICT 製品/サービスの提供 - 工場 IoT 向けの ICT 製品やデータ収集基盤製品/サービスの提供	✓ 車両制御や工作機械の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ 工場 IoT を支援する商品ラインアップが豊富
品質マネジメント事業	- IoT システム全体のソフトウェア品質に関する業務 - ソフトウェア品質向上に関する ICT 製品/サービスの提供	✓ 品質検証技術の専門知識を持つエンジニアが多数在籍 ✓ デバイス、クラウドだけでなく IoT システム全域に関する品質マネジメントができる
グループ会社	情報システムに関する構築、導入、保守、運用、ならびにパッケージ販売	✓ 大手企業との繋がりや業務ノウハウ

(説明省略)

■ 高度なセキュリティ技術と堅牢なデータセンターサービスを活用し、公共、文教、物流、医療、ヘルスケアなど多様な分野に対応したソリューションを提供

	事業概要	強み
注力事業 セキュリティ サービス事業	- サービス系（Cyber NEXT）：コンサルティング、診断、インテグレーション、監視・運用業務などのセキュリティソリューションを総合的に提供 - 製品系（SmartSESAME）：認証技術を基盤としたオフィスセキュリティに関する製品開発・販売、ソリューションサービス、システム開発・保守・運用業務	✓ サービス系：マルチベンダー対応、対応領域・範囲の広さ ✓ 製品系：マルチメーカー対応、全国の販売チャネル保有自治体導入1,000団体以上の実績
データセンター事業	- クラウドサービス、データセンターサービス、ネットワークサービスのサービス企画・開発・運営 - システム運用設計、導入支援、運用管理サービスの提供	✓ 24時間365日有人による監視・運用 ✓ メガクラウドと低遅延・高速接続によるマルチクラウド ✓ データの国内保管によるデータ主権の確保 ✓ 100%グリーン電力採用
業界特化型 ソリューション	- 物流・製造・公共（自治体含む）領域の業務改善に向けた商品の企画・開発・保守・運用業務・製品サービスの提供 - 医療機器・ヘルスケア分野向けにクラウド技術を活用した商品の企画・開発・保守・導入・運用・製品サービス提供	✓ 顧客ニーズ（運用）に適した物流サービスの提供 ✓ 空港、製造工場などの特殊案件に対する導入実績 ✓ 業界に特化した知見やノウハウを活用したサービス群

（説明省略）

名 称	株式会社シーイーシー Computer Engineering & Consulting Ltd.	従業員数	2,531名（2026年7月31日現在）
設立年月日	1968年2月24日	連結子会社	8社
上場取引所	2022年4月（プライム市場） 2001年7月（東証一部）	本社事務所	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5 JR恵比寿ビル
資本金	65億8千6百万円	代表者	代表取締役社長 姫野 貴
売上高	658億8千2百万円（2026年1月期）	事業内容	■インテグレーションセグメント 従来のシステム開発を中心に、情報システムの企画からインフラ設計・構築、運用まで、ICT全般をワンストップで提供 ■コネクティッドセグメント モビリティ分野やスマートファクトリー分野でのシステム開発や、デジタルデータを分析・活用したサービスを提供 ■ソリューションセグメント セキュリティ技術とデータセンターを活用し、多様な分野へ自社製品・サービスを提供
各種許認可	■経済産業省システム監査企業台帳登録企業 ■経済産業省情報セキュリティサービス台帳登録企業 ■プライバシーマーク認定事業者11820032（14） ■JQA認定 - 品質マネジメントシステム ISO9001:2015（登録証番号JQA-1481） - 情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27001（登録証番号JQA-IM0007） - クラウドサービス情報セキュリティマネジメントシステム ISO/IEC27017（登録証番号JQA-IC0040） - ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC20000（登録証番号JQA-IT0005） - 環境マネジメントシステム ISO14001:2015（登録証番号JQA-EM7701） ■電気通信工事業 国土交通大臣（般-4）第28700号 （許可年月日：2022年11月21日）		



（説明省略）

免責事項

- ◆ 本資料は、投資を勧誘することを目的として作成されたものではありません。
- ◆ 本資料に含まれる将来の業績に関する見通しは、日本経済や情報サービス産業の動向、その他本資料作成時点において入手している情報による判断および仮定により、算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により変動する可能性があることをご承知おきください。
- ◆ 本資料の記載内容は、当社の許諾を得ずに複製または転記、転載等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社シーイーシー

コーポレートグループ 管理本部 経営戦略室 IR担当

☎ 03-5789-2442

コーポレートグループ 管理本部 財務経理部

☎ 03-5789-2441

✉ IR@cec-ltd.co.jp

© Computer Engineering & Consulting Ltd. All rights reserved.

(説明省略)